

3年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

その4 コロナ感染拡大のようすを知る

3節 新興国での感染拡大の要因と影響について考えよう

イ 新聞記事からブラジル感染拡大の理由を考える

ブラジル地理統計院（IBGE）の全国家庭サンプル調査（Pnad）の2016年の統計分析調査によると、2016年度のブラジルの労働人口8,890万人のうち半数は、昨年の最低賃金880リアルに達しない平均747リアルであった。しかし労働人口の所得ピラミッドの頂上を形成する1.0%の最富裕層の平均所得は、ピラミッドの底辺を形成する最貧層の36.3倍に相当する2万7,085リアルとブラジルの所得格差のポートレートを表している。2016年度のブラジルの労働人口8,890万人の5.0%に相当する444万5,000人の最貧困層家庭の一人当たりの月収は73リアルに過ぎず、世界でも最も所得格差が最悪であるとブラジル地理統計院労働・所得部門担当のシマール・アゼレード コーディネーターは指摘している。

ブラジルの労働者の所得ピラミッドの最下位5.0%は73リアル、その次の5.0%は293リアル、下位3位の10%は596リアル、所得ピラミッドの下位30%は870リアル以下となっている。一方、ブラジルの労働者の所得ピラミッドの最上位1.0%の平均月収は2万7,085リアル、その次の4.0%は9,759リアル、前記同様に上位3位の5.0%は5,179リアル、4位の10%は3,256リアル、5位の10%は2,203リアルとなっている。（ブラジル日本商工会議所の2017.11.30の記事による）

<http://jp.camaradojapao.org.br/news/noticias/noticias-politica/?materia=17814>



表1

平均月収下位・上位からの労働人口に占める割合	下位からの累積(%)	平均月収(リアル)
下位0%	0	0
下位5%(最下位の5.0%)	5	
下位5~10%(その次の5.0%)	10	
下位10~20%(下位3位の10%)	20	
上位10~20%(4位の10%)	90	
上位5~10%(上位3位の5.0%)	95	
上位1~5%(その次の4.0%)	99	
上位1%(最上位の1.0%)	100	

- (注)
- ・ 統計年次は2006年。
 - ・ 「下位5%」とは、ブラジルの労働人口を100人としたとき、月収の下位5人の平均月収は73リアルであることを示している。
 - ・ 1リアル≒20円≒0.2ドル(2020.6.28)。

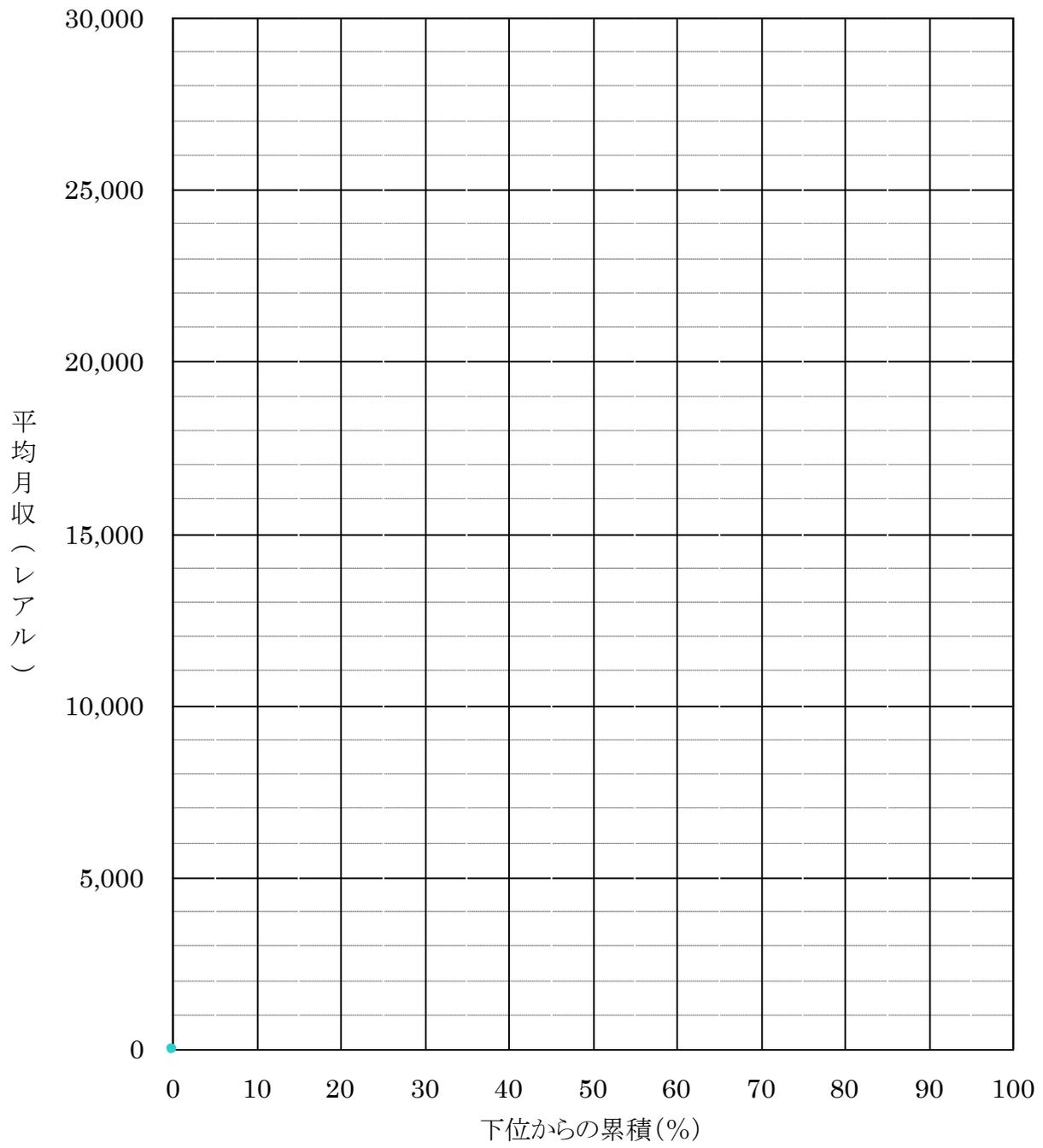


図 1